

めざす子ども像 ～15歳の姿～

- ・ふるさとを愛し
- ・未来を切り拓く
- ・自立した子ども



鴛小HP



鴛中HP

第2回鴛泊地区小中一貫教育全体会 12/18 会場：鴛泊中学校

鴛泊地区では、鴛泊小学校と鴛泊中学校が連携し、9年間の一貫した教育活動を推進しています。先日開催された「第2回全体会」での活動内容を紹介します。

～授業公開～

1年生：音楽 井上花鈴先生 『全体の構成を考えながらラップをつくろう』



2年生：理科 佐橋賢哉先生 『電流と電圧』



3年生：少人数数学 野村先生 加藤先生 『標本調査』



～全体会 各分掌部会から～



各部会から取組状況と今後についての説明がありました。事務局からは、小中一貫教育に取り組んでいる他地区から、鴛泊地区で取り組んできた事が評価されている事についてや来年度の合同研修で、新学習指導要領について研修していきたい考えがあることを確認しています。

参観した小中の先生方からの生徒の頑張りや授業の感想を紹介します。

～音楽～

・変わらず元気いっぱいな1年生を見ることができて良かったです。個人思考のときには、一人ひとりしっかりと考えていたところも良かったと思います。
・難しい内容だと思って見ていましたが、生徒は楽しく学習に取り組んでいたのが驚きました。

～理科～

・恐らく説明をしてすぐに活動に取り組んだのだろうという流れでさすがと感じました。生徒は自分たちで学習の課題に取り組んでいて主体的な姿を見ることができました。
・回路についてグループで協力しながら学んでいる姿が印象的でした。

～数学～

・少ない人数でも、生徒同士対話しながらオンラインもつながって、難しい問題に挑戦していてすごいなと思いました。
・箱ひげ図の書き方を知らなかったのですが、Rさんから学びました。大変な作業だったと思いますが、中学生の真面目に取り組む姿を見ることができて良かったです。

小学校授業研 12/2 会場：鴛泊小学校

11月26日に予定していた「小中合同授業研修会」は、インフルエンザの流行による鴛小の閉鎖に伴い、残念ながら中止となりました。しかし、これまでの準備を無駄にせず学びを深めるため、後日、小学校単独で同内容の授業研究会を実施いたしました。当日は、校務の都合がついた中学校の数学担当教員も参加し、9年間の学びのつながりを意識した研究協議を行いました。



「おり紙300枚、数えないで用意するにはどうしたらよいでしょうか？」

授業の流れは…

「問題を提示」⇒「予想」⇒「課題を考える」⇒「解き方を考える」⇒「考えを交流する。個人⇒全体」⇒「まとめ」という流れで進められていました。

自分の考えが正しいかを確認めようと、率先して問題に挑む6年生の姿が印象的でした。中学校での学びに直結する「比例」の考え方を、どの子も意欲的に深めていました。また、自分の解き方に自信を持ち、発表しようとする姿からは、最高学年としての頼もしさと、中学校進学を控えた意欲の高さを感じられました。小中一貫教育の成果と言えるかと思います。



研究協議では3グループに分かれ、本時の授業を徹底分析しました。良かった点だけでなく、課題や具体的な改善策を明確にすることで、より良い指導の在り方を共有することができました。